

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年8月9日

【四半期会計期間】 第79期第1四半期(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

【会社名】 オーデリック株式会社

【英訳名】 ODELIC CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 伊藤 雅人

【本店の所在の場所】 東京都杉並区宮前一丁目17番5号

【電話番号】 03(3332)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営本部長 河井 隆

【最寄りの連絡場所】 東京都杉並区宮前一丁目17番5号

【電話番号】 03(3332)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営本部長 河井 隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第78期 第1四半期 連結累計期間	第79期 第1四半期 連結累計期間	第78期
	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	8,796,772	8,682,413	37,951,557
経常利益 (千円)	982,071	1,027,081	4,899,735
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	661,744	669,171	3,485,569
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	594,883	717,462	3,464,839
純資産額 (千円)	25,172,519	27,925,630	27,687,775
総資産額 (千円)	33,952,820	36,337,002	37,238,855
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	109.86	111.08	578.61
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	109.70	110.88	577.67
自己資本比率 (%)	74.0	76.7	74.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復、雇用・所得環境の改善が続き、全体として景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの業績に大きな影響を与える住宅投資につきましては、低金利環境の長期化等により、新設住宅着工戸数は底堅く推移しております。

このような状況の中、当社グループにおいては、4月に店舗・施設用照明器具カタログ「OS（オーエス）06」を、6月には住宅・店舗・施設用の総合カタログ「ハビテーション+ストラクチャル ライティング 2017-2018」を発刊、多数のLED照明器具の新製品を発売し、住宅・店舗・施設・オフィス・工場・屋外に至る様々な分野に対して、増販に向けた営業活動を積極的に進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,682百万円（前年同期比1.3%減）となり、利益につきましては営業利益989百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益1,027百万円（前年同期比4.6%増）、本社事務所改装に伴う固定資産除却損35百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は669百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

なお、当社グループは照明器具の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(2) 財政状態の分析

資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は36,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ901百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金1,052百万円、商品及び製品201百万円の減少に対し、現金及び預金143百万円の増加等によるものであります。

負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は8,411百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,139百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金197百万円、電子記録債務289百万円及び未払法人税等680百万円の減少等によるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は27,925百万円となり、前連結会計年度末に比べて237百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金187百万円の増加等によるものです。

この結果、自己資本比率は76.7%(前連結会計年度は74.2%)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、185百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,941,000
計	28,941,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,100,000	6,100,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,100,000	6,100,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月30日		6,100,000		3,105,500		2,890,655

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 75,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,014,300	60,143	
単元未満株式	普通株式 9,900		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,100,000		
総株主の議決権		60,143	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) オーデリック(株)	東京都杉並区宮前一丁目17番5号	75,800		75,800	1.24
計		75,800		75,800	1.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,287,861	11,431,050
受取手形及び売掛金	7,293,981	6,241,776
商品及び製品	6,077,822	5,876,047
仕掛品	334,970	323,811
原材料及び貯蔵品	1,235,476	1,331,952
その他	653,327	647,210
貸倒引当金	2,188	1,995
流動資産合計	26,881,250	25,849,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,427,544	3,603,258
機械装置及び運搬具(純額)	182,113	180,519
土地	2,263,781	2,263,781
その他(純額)	517,825	425,156
有形固定資産合計	6,391,264	6,472,715
無形固定資産	1,168,859	1,164,770
投資その他の資産		
投資有価証券	1,135,755	1,197,477
退職給付に係る資産	262,333	283,076
その他	1,401,552	1,372,153
貸倒引当金	2,161	3,045
投資その他の資産合計	2,797,480	2,849,662
固定資産合計	10,357,604	10,487,148
資産合計	37,238,855	36,337,002
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,437,443	1,239,641
電子記録債務	2,312,900	2,022,936
短期借入金	4,296	4,296
未払法人税等	979,861	299,786
賞与引当金	506,150	618,762
その他	2,072,477	1,997,144
流動負債合計	7,313,129	6,182,568
固定負債		
長期借入金	2,546	1,472
退職給付に係る負債	1,009,682	989,698
その他	1,225,721	1,237,633
固定負債合計	2,237,950	2,228,803
負債合計	9,551,079	8,411,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,105,500	3,105,500
資本剰余金	2,892,018	2,892,018
利益剰余金	21,323,742	21,510,980
自己株式	66,816	66,816
株主資本合計	27,254,444	27,441,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	433,311	476,508
退職給付に係る調整累計額	40,467	36,145
その他の包括利益累計額合計	392,843	440,363
新株予約権	29,647	31,973
非支配株主持分	10,840	11,610
純資産合計	27,687,775	27,925,630
負債純資産合計	37,238,855	36,337,002

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,796,772	8,682,413
売上原価	5,652,533	5,444,792
売上総利益	3,144,239	3,237,621
販売費及び一般管理費	2,225,441	2,247,930
営業利益	918,797	989,690
営業外収益		
受取利息	4,875	3,833
受取配当金	16,403	15,836
為替差益	34,583	-
保険解約返戻金	-	9,487
その他	9,395	10,464
営業外収益合計	65,258	39,621
営業外費用		
支払利息	1,662	1,702
為替差損	-	469
その他	322	57
営業外費用合計	1,984	2,230
経常利益	982,071	1,027,081
特別損失		
固定資産除却損	-	35,197
特別損失合計	-	35,197
税金等調整前四半期純利益	982,071	991,883
法人税、住民税及び事業税	300,615	301,344
法人税等調整額	19,166	20,596
法人税等合計	319,782	321,940
四半期純利益	662,289	669,942
非支配株主に帰属する四半期純利益	545	770
親会社株主に帰属する四半期純利益	661,744	669,171

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	662,289	669,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,180	43,197
退職給付に係る調整額	773	4,322
その他の包括利益合計	67,406	47,519
四半期包括利益	594,883	717,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594,338	716,691
非支配株主に係る四半期包括利益	545	770

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

次のとおり従業員の銀行借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
従業員	3,124千円	2,856千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
減価償却費	173,508千円	170,780千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月24日 定時株主総会	普通株式	481,881	80.00	平成28年3月31日	平成28年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
 後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月23日 定時株主総会	普通株式	481,933	80.00	平成29年3月31日	平成29年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
 後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、照明器具の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	109円86銭	111円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	661,744	669,171
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	661,744	669,171
普通株式の期中平均株式数(株)	6,023,546	6,024,165
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	109円70銭	110円88銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	8,774	11,197
希薄化効果を有していないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8月 9日

オーデリック株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 廣 田 剛 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 天 野 清 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーデリック株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーデリック株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。